

2024年5月13日

各 位

会社名 株式会社 NEW ART HOLDINGS
代表取締役会長 白石 幸生
(コード番号 7638 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 神尾 常夫
電 話 03-3567-8098

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえて2023年7月13日に発表した中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）を見直し2025年3月期を初年度とする中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 基本方針

当社は、更なる事業の成長及び企業価値の最大化のため、責任体制の明確化を図り、事業間のシナジー効果の最大化、機動的な組織再編、戦略的な事業提携、コーポレートガバナンスの強化等、グループ各社が事業環境の変化に柔軟に対応できる体制の構築を図ってまいります。

当社は、2023年7月13日に発表した中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）においてジュエリー・アート・オークション事業の堅調な業績を考慮して策定しておりました。2024年3月期は為替変動の中、競合各社が3回、4回と値上げをしたところ、当社は1回の値上げに留めていたことが、結果として利益率の低下を招くこととなりました。また、他既存事業の回復の遅れもあり利益面が想定を下回り2024年2月13日に業績の下方修正を発表する次第となりました。当社としては業績修正を真摯に受け止め、プライダルジュエリー事業において経済情勢を踏まえた適切な価格転嫁を実行致しました。仕入製造部門の見直しにも着手しており基幹事業の利益率改善を進めております。

また、この度2025年3月期を初年度とする中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）策定の理由として、2023年7月13日に発表した中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）の時点では見込まれていなかった「Wah Full Group Limited」の株式取得の件及び旧軽井沢エリアにおける高級分譲マンション（レジデンス）事業が具体化し、新たに策定する運びとなりました。

成功企業パートナー連合第1号の「Wah Full Group Limited」は香港で和牛を中心に業界

No. 1 の食肉等を販売する会社で当社は 2024 年 4 月 30 日時点で「Wah Full Group Limited」の株式 30.3%を取得いたしました。当社は、2024 年 7 月 31 日迄（予定）に 70%までの取得を進めており、2025 年 3 月期より売上、利益に計上を見込んでおります。また、旧軽井沢エリアにおける高級分譲マンション（レジデンス）事業『K Forest』は 2024 年 4 月に建築確認申請が承認され、いよいよレジデンスの着工、それと並行して販売募集も開始いたします。販売戸数は 9 戸で販売総額 9,704 百万円、引渡し予定日は 2026 年 6 月の為、今回策定した中期経営計画では 2027 年 3 月期に売上・利益を見込んでおります。

『K Forest』に続く第 2 の案件として、軽井沢本通りを挟んだ閑静なエリアにある約 2,500 m²もの敷地に大規模戸建物件（予定販売価格約 2,000 百万円）の建設、および中軽井沢北部にある隈研吾氏設計『野鳥の森山荘』の販売（予定販売価格約 1,600 百万円）を計画しております。更に第 3 の案件、中軽井沢エリアの土地（敷地面積 9,466 m²）については 3～5 戸の戸建分譲を念頭に、着々と進行しております。

私たち NEW ART グループは、主力のブライダルジュエリー事業はもちろん、各事業の更なる発展に向けて株主の皆さまと情報を共有しつつ着実に歩んでまいります。今後の展開に、引き続きご期待ください。

2. 連結数値目標

【単位：百万円】

	2024 年 3 月期 (実績)	2025 年 3 月期 (予想)	2026 年 3 月期 (目標)	2027 年 3 月期 (目標)
売上高	21,099	27,000 (28.0%)	30,000 (11.1%)	40,000 (33.3%)
営業利益	2,864	4,800 (67.6%)	5,700 (18.8%)	6,400 (12.3%)
経常利益	2,915	4,800 (64.7%)	5,700 (18.8%)	6,400 (12.3%)
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,085	2,800 (157.8%)	3,400 (21.4%)	3,800 (11.8%)

※括弧内は対前期比増減率

3. 株主還元策

当社は、将来の事業規模拡大に不可欠な成長投資を優先し、株主利益および企業価値の最大化に努めることを基本方針としています。また、株主還元については、企業価値向上による株価上昇と剰余金の配当等によって総合的に実現してまいります。剰余金の配当等は、純利益だけでなく、内部留保も含めた資本効率を勘案すると同時に将来の事業計画を考慮して決定しております。

2025 年 3 月期の配当につきましては、決定次第発表をさせていただきます。

以 上

※当資料の将来見通しに関するリスクについて

当資料における当社の今後の計画、目標、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後の環境の変化などさまざまな要因で異なる結果となる場合がございます。